

科目名	総合演習 I	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	王子 由佳理
	General Exercise I	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	(通年科目)前期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	
【授業の学習内容】							
前期の総合演習 I では各授業の進行進度に合わせ、解剖学を中心とした国家試験該当科目の問題に取り組む。 総合的な基礎知識を学習し、早期より国家試験の出題形式である4択問題にふれることで、3年後の試験に向けた準備を行う。 また、学習の振り返り(時間、方法、内容、結果、自己評価、結果に基づく改善箇所を考える)を行うことは、個々に合った学習方法の基盤作りとなる。 王子 実務実績 鍼灸院での勤務、付属治療院での診察から治療までの業務に従事 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資格 はり師、きゅう師							
【到達目標】							
《目標①》主に解剖学において国家試験レベルの問題を読み、出題者の意図を正しく理解できる。 《目標②》問題の正しい答えを選択することができ、誤っている選択肢の理由を説明できる(8割以上)。 《目標③》授業を通じて学習方法の基盤を作り、国家試験合格に繋がる学習を行うことができる。							

授業計画・内容	
1回目	《導入》授業概要の説明
2回目	《導入》授業概要の説明 学習に関するグループワーク①
3回目	《導入》授業概要の説明 学習に関するグループワーク②
4回目	《導入》授業概要の説明 学習に関するグループワーク③
5回目	《導入》授業概要の説明 学習に関するグループワーク④
6回目	解剖学(人体の構造、骨学)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
7回目	解剖学(骨学)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
8回目	解剖学(骨学)、生理学の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
9回目	解剖学(骨学)、生理学の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
10回目	解剖学(運動器系)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
11回目	解剖学(運動器系)、東洋医学概論の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
12回目	解剖学(運動器系)、経絡経穴概論の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
13回目	解剖学(循環器系)、生理学の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
14回目	解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
15回目	解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
準備学習 時間外学習	授業内で提出できなかった場合は課題とし、期限内に提出すること。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 河野邦雄他著 解剖学 第2版 医歯薬出版株式会社 内田さえ他著 生理学 第3版 医師薬出版株式会社 教科書執筆小委員会著 新版 経絡経穴概論 第2版 医道の日本社 教科書執筆小委員会著 新版 東洋医学概論 医道の日本社	

科目名 (英)	総合演習 I General Exercise I	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	王子 由佳理
学科・コース	鍼灸科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	(通年科目)後期
曜日・時限							
【授業の学習内容】 ①後期の総合演習 I では授業の進行に合わせ、解剖学、生理学を中心とした国家試験該当科目を復習し、総合的な基礎知識を学習する。 問題を解くだけでなく、教科書を使用し調べ学習を行うことで理解力を高め、3年後の国家試験に対応する学力を身に付ける。 また、学習計画表の作成、学習の振り返り(時間、方法、内容、結果、自己評価、結果に基づく改善箇所を考える)を行うことで問題点を認識し改善に繋げる。 ②硬筆書写検定3級にむけて理論の学習、実技問題の練習を行う。 王子 実務実績 鍼灸院での勤務、付属治療院での診察から治療までの業務に従事 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 はり師、きゅう師							
【到達目標】 《目標①》主に解剖学、生理学において国家試験レベルの問題を読み、出題者の意図を正しく理解できる。 《目標②》問題の正しい答えを選択することができ、誤っている選択肢の理由を説明できる(8割以上) 《目標③》授業を通じて学習方法の基盤を作り、国家試験合格に繋がる学習を行うことができる。 《目標④》硬筆書写検定3級に合格できる程度の理論説明ができ、実技問題を書くことができる。							

授業計画・内容	
16回目	ペン字 授業の概論 用具、姿勢、テキストの使い方について 硬筆書写検定の説明、練習 楷書の説明、練習
17回目	ペン字 テキストを使用した問題演習 理論模擬試験 行書の説明、練習
18回目	ペン字 速書きの説明、練習 テキストを使用した理論勉強 理論模擬試験 ひらがなの説明、練習
19回目	ペン字 速書きの練習 ひらがな添削 検定理論勉強 理論模擬試験 はがきの表書き説明、練習 掲示の書き方説明、練習
20回目	ペン字 速書きの練習 掲示、はがきの表書き添削 理論勉強 理論模擬試験 実技説明、練習
21回目	ペン字 速書きの練習 検定実技練習、添削 理論模擬試験 各自不得意なところを練習
22回目	ペン字 硬筆書写検定3級実技の添削 はがきの表書き、掲示文の練習 テキストを使用した練習
23回目	ペン字 速書きの練習 掲示、はがきの表書き練習 理論模擬試験 各自検定試験勉強 検定試験のための諸注意
24回目	学習計画表の作成 解剖学(呼吸器系)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
25回目	解剖学(呼吸器系、消化器系、泌尿器系)、生理学(消化と吸収)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
26回目	解剖学(泌尿器系、生殖器系)、生理学(消化と吸収、体温)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
27回目	解剖学(生殖器系、内分泌系)、生理学(体温、内分泌)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
28回目	解剖学(神経系)、生理学(内分泌)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
29回目	解剖学(神経系)、生理学(生殖・成長と老化)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
30回目	解剖学(神経系、感覚器系)、生理学(生殖・成長と老化)の国家試験過去問に取り組み、教科書を使用した調べ学習を行う。
準備学習 時間外学習	授業内で提出できなかった場合は課題とし、期限内に提出すること。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 河野邦雄他著 解剖学 第2版 医歯薬出版株式会社 内田さえ他著 生理学 第3版 医師薬出版株式会社 教科書執筆小委員会著 新版 経絡経穴概論 第2版 医道の日本社 教科書執筆小委員会著 新版 東洋医学概論 医道の日本社	